



**RESTART**  
Challenge More.

# ゆうばり 市議会だより

62号

2024.2



夕張市議会は昨年12月にデマンドバスを利用し、実際に乗換も経験し、大谷地までの往復を試乗してきました。改善点等もあり、夕張市議会としても今後に活かしていきたいと考えております。

## 令和6年能登半島地震により 被災された皆様にお見舞い申し上げます。

1月1日に発生いたしました能登半島地震で犠牲になられました皆様のご冥福をお祈り申し上げます。併せて、ご家族様にも心よりお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様に対しましても心よりお見舞いを申し上げます。

この後は1日でも早く復旧復興されることを願っております。

夕張市議会

## 通学支援補助制度を 施策に取り入れるべき



千葉 勝



**千葉** 夕張市の若者の人口流出の壁は高校を卒業すると同時に夕張から転出していく時だと考える。

夕張市から若者の流出をさせないため定住を応援する通学支援補助制度、JR北海道の特急定期券かよエールを利用して大学、専門学校に通学する生徒への通学費補助制度を導入する考えについて伺う。

**市長** 夕張市の地理的条件から、市内に居住したうえで大学や専門学校に通学することを想定していなかった。今後、その可能性も含め、夕張高校教職員や学生とも意見交換するなど研究して参りたい。

**千葉** 夕張市において、高校を卒業した若者の転出抑制に関わる政策について、現状と今後について伺う。

**市長** これまで市内企業への就職促進に係る情報提供・イベント開催等の取り組みは行ってきたが、高校卒業者の市外転出を積極的に抑制させるまでの取り組みは実施していない。

夕張で学んだことを活かすため広い世界へと進出し、貢献をした人材が、再度夕張に戻ってきたくなるよう

なまちづくりを目指したい。そうした人材を多く輩出するべく高校魅力化事業を鋭意進めて参りたい。

**千葉** 道の駅夕張メロードのトイレと駐車場整備に向けて国の担当部局との協議の進捗状況について伺う。

**市長** 課題となっているトイレの再整備等については、国の担当部署との検討会議を重ねてきたが残念ながら実現には至っていない。

**千葉** 課題となっているトイレの再整備等について、令和6年度の国の予算編成に向けてどのような戦略で臨むのか伺う。

**市長** 国にとっても、本市の道の駅はトイレだけの課題ではなく、本市の道の駅が国道の利用者及び高速道路と密接に関わってくる立地となっておりことから、道路利用者の重要な休憩拠点であると認識していただいている。今後は、こうした経緯も踏まえ、戦略を再構築しながら、引き続き地域活性化の実現に向けて、さらに力強く要望していく。

## 補聴器購入の 補助制度実現を！

## デマンド交通の より良い改善を！



櫻井 暁



**櫻井** 補聴器の購入をためらう低所得者もいる現状から高齢性難聴のための補聴器購入補助制度を実現する考えがあるか伺う。

**市長** 全国市長会における国に対する提言でも「後期高齢者や障害区分に限らず、加齢性難聴者等の軽・中等度難聴者の補聴器購入に対する補助制度を創設すること」と全国に一律の公的補助制度の創設などを求めている。本市も提言に対する国の動向を注視していきたい。

**櫻井** 障がい者、妊婦、要介護者などの避難困難者への具体的な避難方法の周知と避難時の対応について伺う。

**市長** 災害時は広報車による避難広報、防災メール、町内会への電話等、具体的な避難方法や対応をできるだけ丁寧な周知情報を伝達する。防災講話や防災訓練などを通じて自助・共助の重要性、市民意識の醸成に努めて参りたい。

**櫻井** 地域の助け合いで避難を行う「避難行動要支援者支援制度」には申し込み手続きが必要だが、周知方法、対象者、申込者について伺う。

**市長** 主な対象者は75歳以上のひとり暮らし、要介護3以上、障害者手帳の認定を受けている、などであり、対象者は全体で約1700人で、このうち約630人が同意書を提出。

民生・児童委員や市HPを通じて市民周知を行い、新規登録の呼びかけ、直接通知書を郵送するなど、今後も避難困難者の安全確保に配慮して参りたい。

**櫻井** 市外線デマンド交通実証実験開始から現在までの利用者からのご意見、ご要望の内容と、それを踏まえて今後変更が可能なか伺う。

**市長** 内容として「運行間隔が長いので1日当たりの運行回数を増やしてほしい」「乗車定員が9名の第2便、第4便の乗車定員を第1便、第3便と同様の24名にして欲しい」「第1便に乗るための移動手段がない」とのご意見もある。今年度内には利用者アンケート調査を実施し課題把握に努め、その上で4月の本格運行実施に向けて少しでも利便性がよくなるよう可能な限り改善に向けて検討して参りたい。持続可能な公共交通として事業者に過度な負担がかからぬよう十分に協議をしていく。

# 地域共生社会の実現に 向けた取組みを



君島孝夫



**君島** 地域共生社会の実現に向けて厚生労働省は市町村地域福祉計画の策定を努力義務化して五年が経過した現在、夕張市の取組み状況を伺う。

**市長** 住民相互の支え合い機能の促進や複合的な地域生活課題に対応する包括的相談支援体制の整備など、計画の策定に努めるよう改正が行われたが、本市では未策定となつている。なお、人口減少が著しい空知管内では二十九%の策定率である。

**君島** 市内では高齢化が進み町内組織の地域力やマンパワーが不足している地域もある中、助け合いや支え合いを推進するのは難しく、少ない職員で計画を策定する事は大変と思うが、どのような課題を抱えているのか伺う。

**市長** 市民、行政、福祉活動団体などが協働し、課題解決のために、共に役割を果たしていく仕組みづくりや計画を策定するための人財確保及び施策推進のための財源確保など課題がある。

**君島** 人口減少と高齢化が進む中、地域福祉や住民自治において課題山積していると思うが、その課題解決に向けた具体的な取り組みはあるか伺う。

**市長** 本市では、保健福祉課所管の生活支援体制整備事業を通じて、互助の拠点となる地域サロン活動の推進や生活支援サポーターの養成などを通じて、市民間の支え合い、助け合いの意識について取組みを進めている。

**君島** 一般社団法人夕張市観光プロモーション所属の地域おこし協力隊の育成について進捗状況を伺う。

**市長** 十二月一日付けで一名採用し、夕張市観光プロモーションに所属させた。組織に捉われず、観光関係団体と協働しながら活動する事を期待している。

**君島** 観光団体との協働とのことだが、どのような活動が考えられるか伺う。

**市長** 各団体で開催している市内イベント等への支援を通じた協働を考えている。観光団体との連携について、橋渡し役となることを期待している。

**君島** スキー場については市も積極的に事業者と協力して近隣からのスキー遠足など団体利用客を誘客促進すべぎと思うが、市長の考えを伺う。

**市長** 団体客誘致は必要。様々な場面において積極的にPRを行い、誘客促進に努めていく。

# ふるさと納税 事業者 からだけではなく 行政からも取り組みを



荒井周司



**荒井** 十月一日よりふるさと納税の制度改正により規定が厳格化されたが、影響があつたのか伺う。

**市長** 募集費用総額五割以下基準に対象となる事務経費が追加されたが、本市においては既に対象経費に含めていたため影響はなかった。「地場産品基準」の改正においても、総務省による確認作業が進められているが現在指定取り消しになった返礼品はない。

**荒井** 影響はないとのことだが、今後更なる寄附の獲得に向け広告等の費用も嵩んでくるのが予想される。現在本市ではインターネット以外ではどのようなPRの方法を用いているのか伺う。

**市長** 市内各所やイベント等でポスターの掲示やパンフレットの配布を行っている。また、前年度に寄附を頂いた方に寄附金活用事業の報告パンフレットを送付するほか、各種SNSを活用した情報発信を行い、リピーターとなつていただけるようPRしている。

**荒井** ふるさと納税に特化した善処も必要だと思うが市長の考えを伺う。

**市長** 現在2つのサイトを活用し、主に担当職員1名と会計年度任用職員により、登録・募集・受付・配送・問合せに至るまであらゆる業務に対応している。今後も現在の体制を維持しながら寄附をいただいた皆様との関係性を継続していくと共に、行政・議会・市民が一体となつて新たな寄附者の獲得に向け効果的な取り組みを行つて参りたいと考えている。

**荒井** 地場産品を返礼品として扱うことは、市内業者の産業振興にもつながり、寄附の更なる獲得に欠かせないものと考えているが、新規参入や商品開発について市長はどのような考えで取り組まれているのか伺う。

**市長** 地場産品を返礼品に登録していただくことは、事業者の皆様にとって販路のひとつとなるだけでなく本市のPRや産業振興に繋がっているものと考えている。今後も新規参入や商品開発についても積極的に取り組みながら、産業振興と共に更なる寄附の獲得に繋げていきたいと考えている。

# 夕張市は 移住定住政策をすべき



徳谷康憲



**徳谷** コロナ化によりリモートワークが普及し、空き家を探す人が全国で増えているが、夕張市の空き家バンクのこれまでの実績を伺う。

**市長** 夕張市は平成28年度に開設された「北海道空き家情報バンク」を活用している。

これまでの実績は、新規登録3件、成約が2件となっており、現在、紅葉山地区で1軒登録されている状況。

夕張市としては空き家バンクを設置していないため、相談があった場合、市内不動産業者及び「北海道空き家情報バンク」の情報を提供していく。

**徳谷** 隣の栗山町では北海道栗山町空き家バンクがあり、現在11件の空き家が登録されている。由仁町のゆに住まいNAVYには6件の空き家が登録されている。

これらの事例を見習い、夕張市も空き家登録を募る取り組みをするべきと思うが市長の考えを伺う。

**市長** 夕張市の現状として、管理者のいない、いわゆる「放置空き家」が増加傾向にあるものと推測され、今年度「空き家実態調査」を行っている。

空き家問題は全国的な問題でもあることから、利活用の促進、放置空き家の減少を目指し、これからも適切な対応を行っていく。

**徳谷** 空き家バンクの活用を進めるのは当然として、市外の人に来てもらう為にも、空き家をお試し住宅にするなどして人を増やすことが必要だと考える。市長の今後の対応を伺う。

**市長** 市で管理している市営住宅は築40年以上経過しており、老朽化が著しい住棟が多く、移住体験を実施するには、住宅のリフォーム、家電製品等の家財道具を市で用意しなければならず、多額の費用を要す。

また、空き家バンクに登録された個人住宅を活用する場合でも、市が住宅を買い取る必要があり、更なる費用の増加が見込まれる。

夕張市としては、需要が明確でない事業に先行投資的な経費をかけるより、効果的と判断できる市営住宅等の環境改善、交流人口の増加に向けた取り組みを進めるべきと考えている。

## 令和6年第1回・第2回臨時市議会

第1回臨時市議会（令和6年1月15日）、第2回臨時市議会（令和6年1月23日）を開催し、下記の議案について審議を行い、それぞれ原案のとおり可決いたしました。

### ●第1回臨時市議会

議案第1号 夕張市財政再生計画の変更について

### ●第2回臨時市議会

議案第1号 令和5年度夕張市一般会計補正予算について

#### 夕張市議会だより編集委員会

委員長	工藤 政則
副委員長	櫻井 暁
委員	徳谷 康憲
委員	荒井 周司
委員	君島 孝夫
委員	千葉 勝
委員	高間 澄子

昨年、5月より新体制で日々活動を行ってきました。今後も議会だよりを通して我々の活動の一端を紹介していきたいと思えます。

### 編集後記

#### 夕張市議会の情報はこちら



夕張市議会  
ホームページ



夕張市議会  
YouTubeチャンネル